



重粒子線治療について



講 座 概 要

日本人の2人に1人はがんになる時代ですが、がんの治療の技術も進歩しています。重粒子線治療は放射線治療の一種で、加速器を用いて炭素イオンを加速し、がん病変に照射することでがんの治療を行います。重粒子線治療は日本が世界をリードしている技術ですが、群馬大学の重粒子線治療施設は日本で初めて大学病院に設置された施設として、2010年から治療が開始され、研究開発、人材育成が行われています。この講座では、一般的ながんの放射線治療の基礎、重粒子線治療の原理や治療技術、対象となる病状、実際の治療の様子などを具体例を示しながら分かりやすく解説します。

実施責任者：重粒子線医学研究センター 教授 大野達也

□ 講義日程

日 程		講 義 内 容	講 師
第1回	10月28日(木) 10:00 ~ 11:30	【重粒子線治療について】 放射線治療の基礎を含め、重粒子線治療の歴史的背景、原理、治療技術、臨床成績を含めた治療実績などについて、具体例を交えながら平易に解説する。	重粒子線医学研究センター 教授 河村英将 他 重粒子線医学研究センター スタッフ